

### (3) 国民の森林としての管理経営

#### ○ 双方向の情報受発信

国有林野事業の実施に係る情報発信や森林環境教育の活動支援等を通じてサービスを提供するとともに、「国有林モニター会議」の開催や、「地域管理経営計画」の策定等に当たって地域懇談会を行うなど、広く国民の意見を集め、対話型の取組を推進しました。

《事例》「地域管理経営計画」の策定に向けた地域懇談会の実施

〔岡山県新見市〕（近畿中国森林管理局）



住民参加の森林づくりの推進の一環として、地域管理経営計画策定に先立ち、地域懇談会を開催し、地域住民等と意見交換を行いました。

地域管理経営計画策定に向けて開催した地域懇談会の様子

#### ○ 森林環境教育の実施

森林環境教育の実践の場として国有林野が利用されるよう、学校等と森林管理署等が協定を結び、国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供し、様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の設定・活用を進めました。

《事例》「学校の森・子どもサミット」の開催

〔東京都渋谷区〕（林野庁）

林野庁、地方公共団体、NPO等が連携して「学校の森・子どもサミット」を開催し、森林環境教育の普及等を行いました。



小学生による体験活動の発表（左）

明治神宮の森での体験活動の様子（右）



#### ○ 森林の整備・保全等への国民参加

自ら森林づくりを行いたいという国民の要望に応えるため、ボランティア団体等と森林管理署等が協定を結び、国有林野をフィールドとして森林づくり活動を進める「ふれあいの森」や「多様な活動の森」等を設定するとともに、技術指導等の支援を行いました。

また、歴史的に重要な木造建造物等の次代に引き継ぐべき木の文化を守るため「木の文化を支える森」を設定し、地域住民等による森林づくり活動を推進しました。

《事例》ボランティア等と連携した登山道整備等の取組

〔北海道上川郡美瑛町〕（北海道森林管理局 上川中部森林管理署）

地元団体と協定を締結し、連携して、荒廃した登山道の整備や高山植物の保護、環境美化に関する普及啓発活動等を行いました。



ボランティアによる登山道の整備



ササの刈払い作業の様子

《事例》「春日奥山古事の森」の取組

〔奈良県奈良市〕（近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所）



地元協議会と協定を締結し、歴史的建築物の資材の供給に寄与するため、超長期の森林づくりに取り組むとともに、シンポジウムや見学会等の普及啓発を推進しました。

興福寺の再建現場見学

## (4) 国有林野の維持及び保存

### ○ 森林の巡視等の活動

山火事やゴミの不法投棄等を防ぐため、森林の巡視を行うほか、世界自然遺産や日本百名山のように来訪者が集中し、植生の荒廃等が懸念される国有林野において「グリーン・サポート・スタッフ」によるマナーの啓発活動を行いました。

《事例》グリーン・サポート・スタッフによる森林の保全管理の取組  
〔北海道虻田郡倶知安町〕（北海道森林管理局）

登山者の多いニセコ山地等において、グリーン・サポート・スタッフによるマナー啓発、巡視等を行いました。



リーフレット配布による  
登山者への普及啓発



植生保護標識を修復する様子

### ○ 森林病虫害の防除

松くい虫被害やナラ枯れ等の森林病虫害の拡大を防ぐため、地元自治体や地域住民等と連携して対策に取り組みました。

《事例》「虹の松原」の再生・保全の取組  
〔佐賀県唐津市〕（九州森林管理局 佐賀森林管理署）



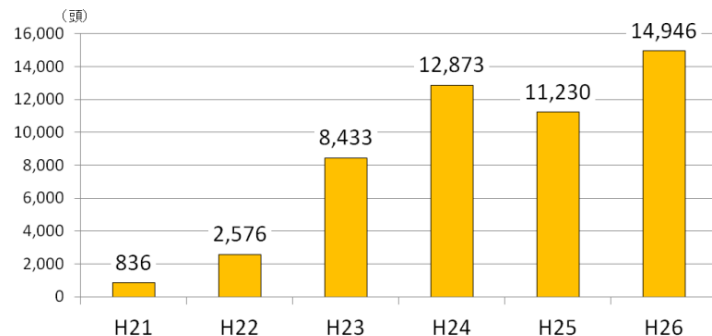
名勝地「虹の松原」において、自治体や住民等と連携し、被害木点検や薬剤散布等の松くい虫対策、植樹祭の開催を通じた植栽等を行いました。

植樹祭で地元園児が抵抗性  
クロマツ苗木を植えている様子

### ○ 野生鳥獣被害の防除

シカなど野生鳥獣による被害を防止するため、地方自治体や地域住民、NPO等と連携し、地域の特性に応じた個体数管理や生息環境整備、被害箇所の回復措置等の対策を行いました。

#### 国有林におけるシカ捕獲頭数



注:国有林におけるシカ(エゾシカを含む)捕獲頭数は、職員実行、委託実行、地域との連携、ボランティアハンターによる有害鳥獣捕獲頭数。(平成27年3月現在)

《事例》地域が一体となった被害対策の取組  
〔長野県伊那市〕（中部森林管理局 南信森林管理署）

自治体や大学とともに対策協議会を設置し、シカ被害対策に取り組んでいます。平成26年度は、ボランティアや環境省等とも連携し植生調査や捕獲活動を行いました。



ボランティア等と連携した  
防護柵の設置



くくりわな設置の様子

## ○ 優れた自然環境を有する森林の維持・保存

原生的な森林生態系や希少な野生生物の生育・生息する森林など、生物多様性の核となる貴重な森林を「保護林」や「緑の回廊」として設定し、その保全・管理に努めるとともに、保護林について、生物多様性の保全に関する施策の推進や設定の進捗状況を踏まえ、有識者会議を設けて今後の制度の在り方について検討を行いました。その結果を踏まえ、平成27年度に保護林制度の再編を行うこととしています。

また、国有林野内に生育・生息する希少な野生生物の保護管理を進めるため、研究機関や自治体等との連携を図りながら、保護増殖事業等を実施しました。

### <保護林の保全・管理の事例>

#### 森林生態系保護地域



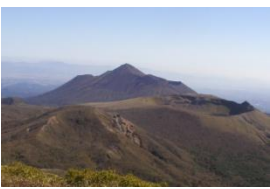
《事例》知床森林生態系保護地域（北海道森林管理局）

目的：  
森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存

● 森林生態系保護地域は、原生的な天然林を厳格に保全・管理しており、このうちの一部は世界遺産に登録されている。

【設定地域：知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島】

#### 森林生物遺伝資源保存林



目的：  
森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源保存

《事例》霧島山森林生物遺伝資源保存林（九州森林管理局）



#### 林木遺伝資源保存林

目的：  
林業樹種と希少樹種の遺伝資源保存

《事例》千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林（四国森林管理局）

#### 植物群落保護林



目的：  
学術上価値の高い樹木群等の保存



《事例》鳥海山植物群落保護林（東北森林管理局）

#### 特定動物生息地保護林



目的：  
希少野生動物とその生息地・繁殖地の保護



《事例》天王山特定動物生息地保護林（近畿中国森林管理局）

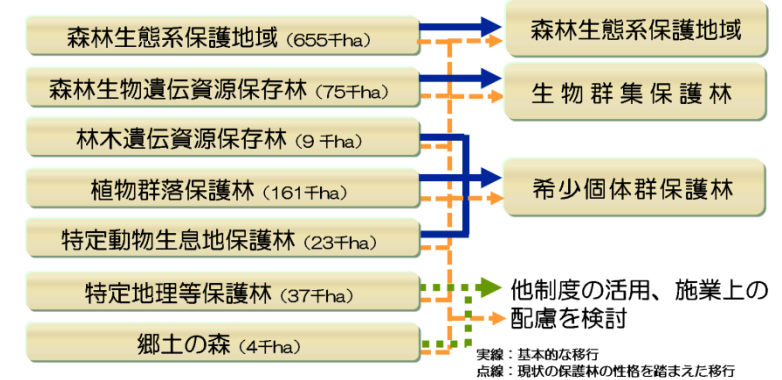
### <保護林制度の見直しに向けた取組に係る指針の提言>

(H27.2.20)

#### 1. 保護林区分の再構築

森林生態系や個体群の持続性に注目した分かりやすい区分に再構築する。

##### 【保護林区分の見直しのイメージ】



#### 2. 管理体制の再構築

専門家や地域関係者による委員会の設置、モニタリング結果の共有等により、科学的対応策を検討できる体制を整備する。

#### 3. 復元の考え方の導入

人為の影響で成立した森林や自立的復元力を失った森林等について、管理の質の向上に取り組む。

#### 4. 新たな保全管理手法の検討

草地、湿地等の特殊な環境を保護林とする考え方や野生生物の存続に必要な個体群の集合体を保全する考え方や、新たな保全・管理手法を検討する。

## (5) 国有林野の林産物の供給

### ○ 持続的・計画的な林産物の供給

地域における安定供給体制の整備等を図るため、木材の持続的・計画的な供給に努め、国産材供給量の約2割の木材（丸太）を供給しており、地域の林業・木材産業の活性化に努めています。特に、森林整備により生産される間伐材等の搬出・供給に取り組むとともに、これまで未利用であった小径木等についても安定供給を通じて、新たな需要の開拓に取り組みました。

また、民有林からの供給が期待しにくい樹種等の計画的な供給にも取り組みました。

### 国有林野事業における立木の伐採量

(単位: 万m<sup>3</sup>)

区 分	平成26年度	(参考) 平成25年度
主 伐	271	261
間 伐	589	587
合 計	861	848

- 注：1 伐採量は、国有林内で伐採等をした立木の材積（林地残材等を含む）である。  
 2 官行造林（H26：52万m<sup>3</sup>、H25：52万m<sup>3</sup>）を含む。  
 3 計の不一致は四捨五入によるもの。

### 国産材供給量に占める国有林材（丸太）の割合

(単位: 万m<sup>3</sup>)

	平成26年(度)	(参考) 平成25年(度)
国産材供給量	1,991	1,965
国有林材供給量 (国産材供給量に占める割合)	355 (18%)	359 (18%)

- 注：1 国産材供給量は年計、国有林材供給量は年度計。  
 2 国有林材供給量は、立木販売量（H26：228万m<sup>3</sup>）を丸太換算した推計量（H26：108万m<sup>3</sup>）と素材販売量（H26：247万m<sup>3</sup>）の合計。

### 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材（丸太）供給実績

(単位: 万m<sup>3</sup>)

樹 種 名	平成26年度	(参考) 平成25年度
ヒ バ	1.1	1.1
木曾ヒノキ	0.1	0.1

### 《事例》 民有林と連携した未利用間伐材の活用に向けた取組

〔群馬県高崎市〕（関東森林管理局 群馬森林管理署）

地元森林組合と協調出荷を行い、従来は林地残材となる物も含めて、間伐材を製材用材やバイオマス発電用材として供給し、未利用間伐材等の活用を促進しました。



間伐を実施した林分



国有林材と協調して出荷される民有林の  
スギ間伐材（左）とスギ端材（右）

### 《事例》 地域材を活用した公共建築物への木材供給

〔長野県小県郡長和町〕（中部森林管理局 東信森林管理署）

新築する保育園のシンボルとして高齢級カラマツ材を柱材として供給し、町の公共建築物の木造化への取組に貢献しました。



地域材を活用した保育園の遊戯室



国有林から供給したカラマツ丸柱

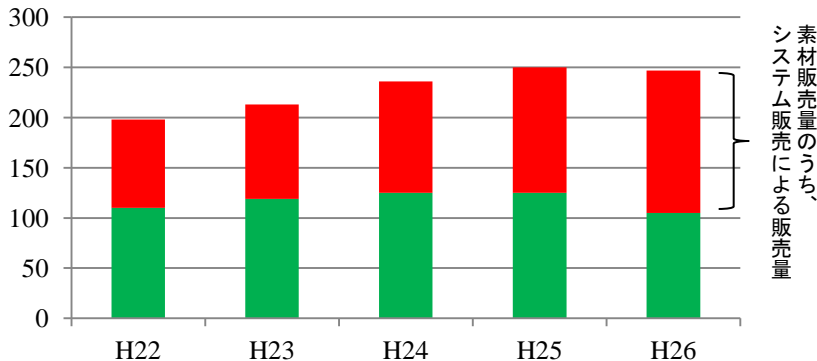
## ○ 国有林材の安定供給による国産材需要の拡大

国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む集成材・合板工場や製材工場等と協定を締結し、間伐材等の国有林材を安定的に供給する「システム販売<sup>(注)</sup>」や、民有林と連携した協調出荷を推進しました。

また、木材の供給調整機能を発揮するため、民有林や木材の加工・流通関係者、有識者等からなる「国有林材供給調整検討委員会」を設置し、地域の木材価格や需要動向等を的確に把握し、必要に応じて追加供給等の対応を行いました。

### 「システム販売」による素材供給量の推移

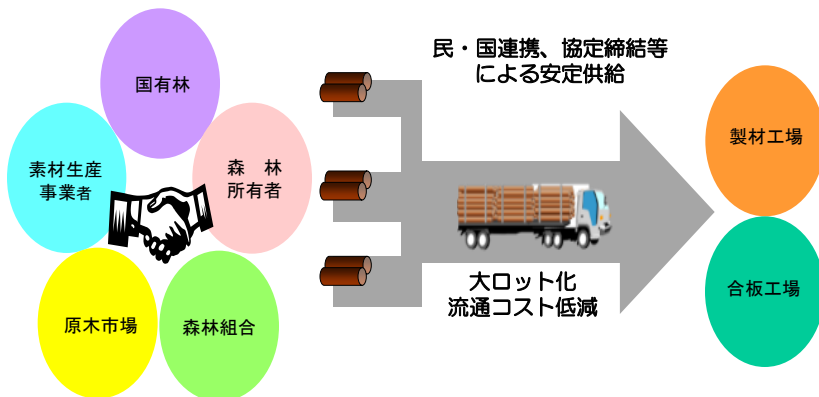
(万m<sup>3</sup>)



素材販売量のうち、システム販売による販売量

	H22	H23	H24	H25	H26
素材販売量	198	213	236	250	247
うち、システム販売量	88 (44%)	94 (44%)	111 (47%)	125 (50%)	141 (57%)

### 民有林と連携した協調出荷



### 《事例》 安定供給システム販売の取組

〔宮崎県都城市〕（九州森林管理局）

国有林材の安定供給システム販売に取り組んでいるほか、民有林と連携したシステム販売も実施しました。



安定供給システム販売による素材（丸太）供給先である製材工場（左）とその土場（右）の様子

注）「国有林材の安定供給システムによる販売」の略称。  
需要開発が必要な間伐材等について、国が製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づき国有林材の素材（丸太）や立木を低コストで安定的・計画的に供給する販売方法。

### 「民有林と連携したシステム販売」による素材供給量

	H26	(参考) H25
協定者数（者）	16	8
素材供給量（千m <sup>3</sup> ）	49.0	35.5
うち民有林材	10.3	9.6
うち国有林材	38.7	25.9

## (6) 国有林野の活用

### ○ 貸付け等、国有林野の活用の適切な推進

農林業をはじめとする地域産業の振興や住民福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体等に対して国有林野の貸付や共用林野の設定等を行いました。

《事例》 共用林野を活用した地域振興に向けた取組  
〔山形県最上郡最上町〕（東北森林管理局 最上支署）



共用林野に  
設定された林分



採取された木材が  
チップにされる様子

平成24年度の法改正により可能となった、バイオマスエネルギー源としての共同利用のための林産物の採取を目的とした共用林野を設定しました。

### ○ 公衆の保健のための活用

森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定し、地域と連携し魅力あるフィールドとなるよう取り組んでいます。

《事例》 地域と連携した「レクリエーションの森」の管理の推進  
〔北海道河東郡鹿追町〕（北海道森林管理局 東大雪支署）

関係行政機関や民間団体等からなる地元協議会と連携し、歩道の維持管理等の保全整備活動を行いました。



然別自然休養林の然別湖



登山道を整備している様子

## (7) 国有林野と民有林野の一体的な整備及び保全

### ○ 民有林との一体的な整備及び保全に向けた取組

国有林野の公益的機能の維持増進を図るため、国有林野に隣接・介在する民有林野との一体的な整備・保全が必要であると認められた場合、森林所有者等と森林管理局が協定を締結し、国有林野事業により一体的に整備・保全を行う「公益的機能維持増進協定制度」が平成24年度に創設されました。

国有林野と民有林野の一体的な間伐等の実施や、世界自然遺産地域での外来樹種の駆除等に向け、平成26年度末までに7つの地域において協定を締結し、その整備に取り組みました。

#### 「公益的機能維持増進協定」締結の状況

概要	局	協定区域の管轄署等	協定面積
森林整備(間伐)の実施	東北	上小阿仁支署	30.68 ha
	関東	日光森林管理署	32.77 ha
		天竜森林管理署	41.45 ha
	近畿中国	奈良森林管理事務所	26.85 ha
	九州	鹿児島森林管理署	37.76 ha
外来種の駆除	関東(小笠原)	関東森林管理局(直轄)	2.21 ha
	九州	屋久島森林管理署	0.75 ha

《事例》 公益的機能維持増進協定に基づく外来種駆除の実施  
〔東京都小笠原村〕（関東森林管理局）



外来植物である  
リュウキュウマツ(左)や  
キバンジロウ(上)の伐採

世界自然遺産区域周辺の民有林と国有林において、一体的に外来植物の駆除を行いました。

## (8) 国有林野事業の運営

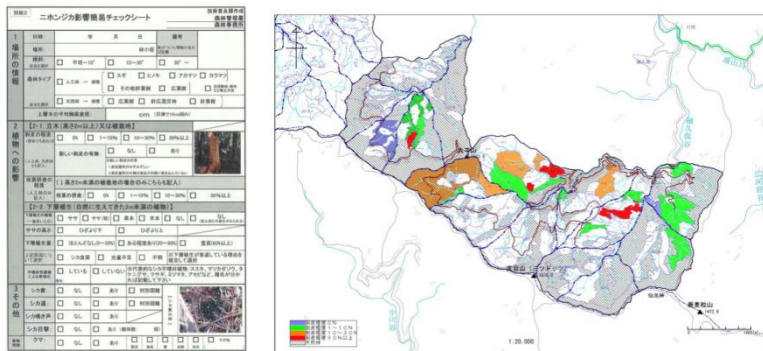
### ○ 国有林野の効率的な管理経営

ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署等を設置し、国有林野の管理経営に取り組んでいます。

また、施業計画の作成等において国有林GISを活用するなど、効率的な管理経営に努めました。

#### 《事例》 国有林GISのシカ対策への活用

(関東森林管理局)



森林官等がチェックシートにより報告したシカ被害をとりまとめて地図に反映したもの。森林管理局署等だけでなく、市町村等の民有林関係者にも情報提供をしている。

ニホンジカ被害調査表(左)からGISを用いて作成した被害状況マップ

### ○ 計画的かつ効率的な事業の実行

事業に当たっては適切な森林整備を通じた収穫量の確保やコスト削減等に努め、計画的かつ効率的な事業の実行に努めました。

国有林野事業特別会計に属していた債務については、一般会計への移行に伴い設置された国有林野事業債務管理特別会計に承継され、林産物収入等により返済することとされており、平成26年度は76億円の返済を行いました。

## (9) その他国有林野の管理経営

### ○ 地域振興への寄与

林産物の安定供給や国有林野の貸付・売払い、事業の民間委託や技術指導等による人材育成等を通じて、地域産業の振興や地域の活性化、住民福祉の向上等に貢献しました。

#### 《事例》 地域文化の継承や伝統産業の振興に向けた檜皮供給

〔山口県岩国市〕(近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所)

ヒノキ高齢級林分からの檜皮供給を積極的に行い、伝統建築物等への資材提供、原皮師の技術継承等に貢献しました。



もとかわし ひわだ  
原皮師による檜皮採取の様子



採取後、集積された檜皮

## ○ 東日本大震災からの復旧・復興への貢献

東日本大震災からの復旧・復興に向け、地域に密着した国の出先機関として地域の期待に応えた取組を行っています。

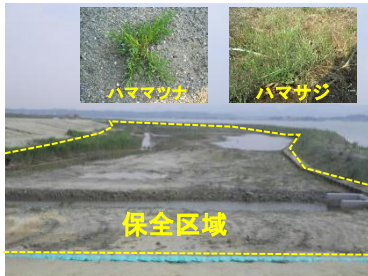
生物多様性の保全にも配慮した海岸防災林の復旧・再生や、生活圏周辺の国有林野の除染や地域の復興に必要な国有林野の貸付等に取り組むとともに、安全な原木の供給等を行っています。

### 《事例》 生物多様性に配慮した海岸防災林の復旧・再生の取組 〔福島県相馬市〕（関東森林管理局 磐城森林管理署）

被災した海岸防災林の復旧・再生に取り組み、要請のあった民有林を含め、平成26年度末までに総延長約56kmの復旧に着手しています。また復興記念植樹祭の開催等を通じて、地域住民等による海岸防災林再生への参加を促進しました。



生育基盤の造成が完了した海岸防災林



生物多様性の保全のため  
汽水を通水させた  
塩性湿地の保全区域の設定



平成26年に福島県内での  
海岸防災林の植樹に  
着手したことを記念し、  
地域で開催された植樹式の様子

### 《事例》 森林における除染等実証事業 〔福島県相馬郡飯舘村〕（林野庁）

平成24年度より除染等実証事業を実施しており、平成26年度は、被覆による放射線の遮蔽効果等の検証を行い、工種に応じて空間線量が1～2割程度低減することを確認しました。



吹付等による遮蔽効果の検証



現地発生材を用いたチップ  
散布による遮蔽効果の検証

### 《事例》 復興住宅向けの国有林野の売払い 〔宮城県石巻市〕（東北森林管理局 宮城北部森林管理署）

高台への集団移転を決定した石巻市の要請を受け、住民の意向を踏まえた住宅用地として、国有林野の売り払いを実施しました。



対象地を遠望した様子



売払い及び整地前後の対象地